

第4章

手作りラジオ用ワンチップIC 2014

入手性のいい超定番品からDSP搭載タイプまで

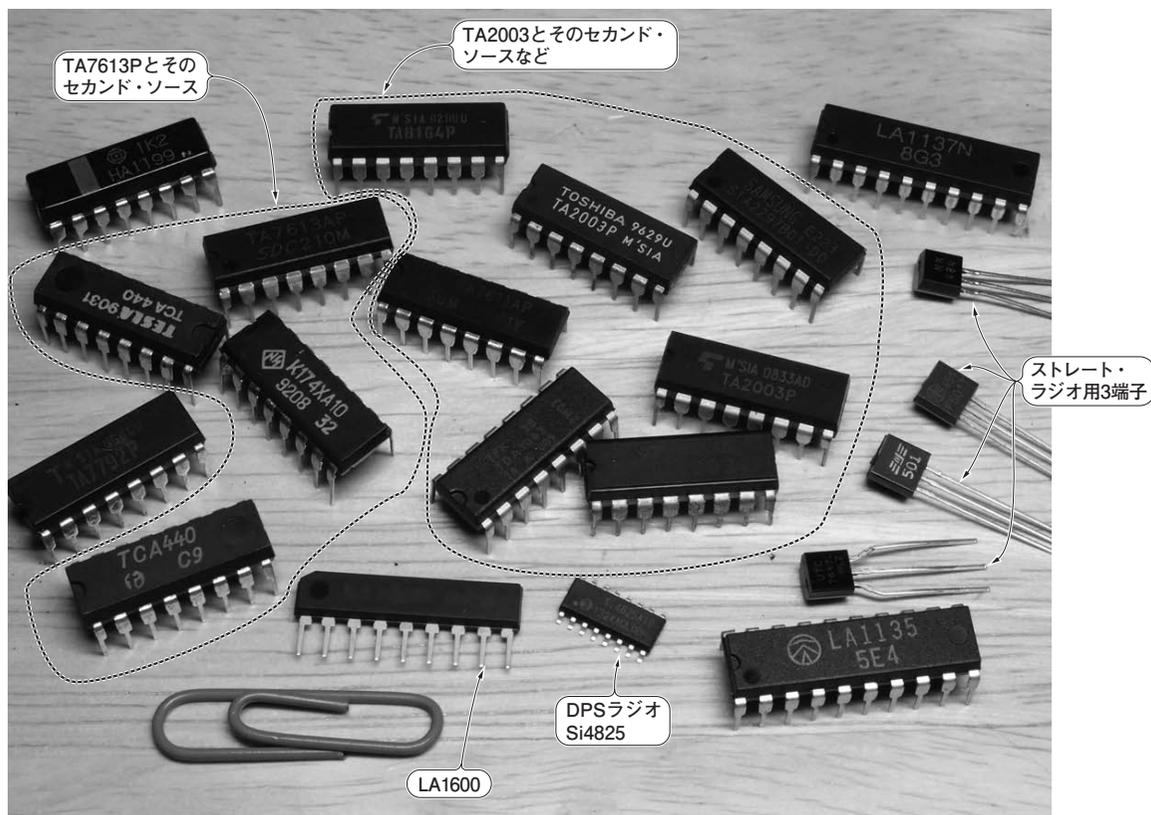


写真1 自作用のラジオICはまだたくさんある(2014年5月現在)

2014年現在で入手できたラジオ用ICを集めてみた。ポピュラなものはほとんど含まれている。数十円以下の安価なものから500円を超えるものまであるが、多くは100円~200円で買える。多くはスーパーヘテロダイン型ラジオだが、ストレート・ラジオやDSPラジオのICもある

健在! ワンチップ・ラジオIC

● 2014年の今、ワンチップ・ラジオICをかき集めてみた

ラジオ用ICとは、ラジオ製作のための専用ICのことです。さまざまなものがありますが、機能・性能を良く調べて目的に合ったICを選ぶ必要があります。

現在でも入手しやすいラジオ用ICを集めて調査した結果を整理します。写真1は、試作評価に使ったラジオ用ICの集合写真です。

ラジオ用ICは、50年近い歴史があります。その時代の技術とニーズに応じてさまざまなICが登場しました。しかし、ある時期もはやされた有名なICでも、

すでに入手できないものもあります。また、機能が陳腐化してニーズに合わなくなったために生産終了に追い込まれたICもあります。製造メーカーそのものが廃業してしまうケースや、製品の整理を目的に終息するICもたくさんあります。

中には、ラジオを作って電子回路を学ぶ目的には最適なラジオ用ICチップもあり、なくなるのは惜しいと思っています。ここではこれからも継続した入手が期待できそうなラジオ用ICを選んでみました。

● 人気ICは世界中のメーカーが類似品を作るからなくなる

日本ではラジオ離れと言われますが、世界的に見れば、ラジオのニーズは今でも旺盛だそうです。玩具の